

中村橋駅周辺まちづくり検討会

第1回美術のまち部会 議事要旨

[日 時]

令和4年10月25日（火）18時30分から20時00分まで

[会 場]

サンライフ練馬2階 会議室

[出席者]

部会長 秋元（美術館長）

委員 江村（商店会）、関口（商店会）、須藤（区民）、前田（区民）

オブザーバー 荻原（専門調査員）、真子（学芸員）、藤原（学芸員）

[事務局]

美術館再整備まちづくり担当課 竹内、松本、中山、納谷

美術館再整備担当課 稲永、竹清、根岸

[傍聴者] 0名

[議事次第]

1. 開会
2. 議題
 - (1) 美術のまち部会の進め方について
 - (2) アートを感じられるまちなみの整備について
 - (3) 「美術のまち中村橋」に向けた事業について
3. その他

[配布資料]

- ・資料1 美術のまち部会の進め方イメージ
- ・資料2-1 アートを感じられるまちなみの整備について
- ・資料2-2 アートを感じられるまちなみ整備の提案
- ・資料3-1 「美術のまち中村橋」に向けた事業について
- ・資料3-2 「美術のまち中村橋」に向けた取組
- ・参考 まちづくりアンケート調査結果報告書

1. 開会

- ・事務局からの事務連絡、部会長の挨拶を行った後、プログラムに沿って議事を進めた。

部会長	<ul style="list-style-type: none">・本部会の主旨は、新生美術館リニューアルコンセプトの「まちと一体となった美術館」を踏まえ、中村橋駅周辺のエリア全体で、アートを感じられるまちなみの整備、美術のまちが感じられるプログラム・事業などを、地域の方や商店街の方と一緒に検討することである。・皆様にはご協力いただき、色々なご意見をいただきながら進めていきたい。
-----	---

2. 議題

(1) 美術のまち部会の進め方について

- ・事務局から資料1の説明。

事務局	<ul style="list-style-type: none">・全体会、駅周辺まちづくり部会、美術のまち部会の3つにて、情報共有をしながら連携して検討を進めていく。・美術のまち部会では、令和5年度末を目途に「美術のまち構想」を策定したい。
事務局	<ul style="list-style-type: none">・補足になるが、次回の第2回美術のまち部会では、美術館の設計者とのイメージ共有を行いたいと考えている。・今年度、プロポーザル方式により美術館・図書館の設計者を決める。8月から設計者の募集を開始、11月初旬に1次審査、12月に2次審査を行い、設計者を決定する。年度内には基本設計に着手する予定である。・設計の候補者へは、プロポーザル方式で選定するための提案課題を出している。提案課題の一つとして、「まちと一体となった美術館」についての提案をしていただくことになっている。
部会長	<ul style="list-style-type: none">・現時点では設計者からどのような提案が出てくるか分からない。・設計者からの提案は、例えば、まちとの一体感を醸し出す建物や空間デザインなど建築プランからの提案である。本部会の検討内容とどこまで関連するかは分からない。・設計者としては美術館の設計のために、本部会などの検討状況を把握する必要がある。お互いに情報共有することは大事である。

(2) アートを感じられるまちなみの整備について

- ・事務局から資料2-1、資料2-2の説明。

事務局	<ul style="list-style-type: none">・「練馬区立美術館再整備基本構想」では、「駅や商店街等と連携して、駅前広場、道路、商店街など、駅からの動線にアートを感じられるような街並みの
-----	--

委員	<p>整備や取組を実施します。」と位置づけている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皆さんへ具体的なイメージを伝えるため、資料2-2による提案をした。ご意見をいただきたい。 ・駅前広場について。駅前広場が整備されて約20年経つ。整備当初はきれいであったが、現在、舗装は古くなり汚い。 ・駅前広場に熊のモニュメント（現在、美術の森緑地内にあるもの）を置くのは良いと思う。 ・駅前広場に面する建物の看板について。現在ある広告募集の看板については、以前は自動車販売店の看板であった。建物の広告看板の借り上げは、広告費用がかかるが、当面借りて美術作品などを飾り、きれいにするのは良いと思う。また、古いビルの建替えに対しては、壁面を利用して案内板を張ってもらうルールなどが考えられる。 ・駅前広場の野外ステージ（又は観客側）に、雨が降っても活動できる屋根などを設けることが考えられる。商店街のイベントで、アーティストを呼び駅前コンサートなどが行いやすくなる。 ・商店街のメイン通りである中杉通りについて。現状は、側道部分のカラー舗装を、一般的な緑色ではなく茶色で塗り替えてもらったが、時間が経つにつれ色あせしている。インターロッキング舗装に替えるのは良いと思う。 ・インターロッキング舗装はきれいであるが、車が通る部分は痛むのが早い。マンホールの部分から崩れ始め、そのままにしておくと歩行者がつかまったりして危ない。中野区の都立家政商店街は、当初インターロッキング舗装であったが、補修費がかかるため、一般的なアスファルト舗装に替えてしまった。 ・車の交通量が少ない道路であれば、インターロッキング舗装でも痛んで補修費のかかるようなことは抑えられる。ただし、現在中杉通りは都道であり、区へ移管するまで舗装工事はできない。 ・花ポットを配布して沿道に花を置くなど、街路灯のカラーリングはできそうである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・美術館から遠い商店会でも、商店会同士での連携は大事である。 ・駅から美術館へのルートは、一体感のあるデザインとして仕掛けができるとよいと思う。具体的にどんなものが良いかは、想像できていない。 ・「まちと一体となった美術館」とするには、商店街の中杉通りの電柱は無くしたい。ただし、都道であり無電柱化は難しい状況である。 ・課題はたくさんあるが、具体的にこうした方が良いといった意見は考えつかない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・「練馬区立美術館再整備基本構想」で示す、まちなみの整備や取組などについて、商店会員の方々は、実際どのように感じているのか。

<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商店会員の皆さんから、いろいろ意見は聞いている。 ・ 商売をしている方の主な意見は、美術館に多くの人に来館してもらいたい。美術館は駅から近い立地であり、線路の側道が整備され、当初は商店街を通過して駅から美術館へアクセスしていた人通りが減ってしまったが、商店街を魅力的にして、美術館へ来た方が商店街へ寄ってくれるようにしたいと考えている。 ・ 年々来館者が増えている。私の店にも、美術館を観に来た来店者から、企画展示や催しなどが良いといった感想はよく聞く。 ・ 例えば、金沢 21 世紀美術館のような美術館が整備されれば、商店街としてもアピールしていきたい。 ・ 駅を出てすぐ、駅前広場などで、「おお」といった印象を与えることができないかと、商店会員の皆さんから意見が出ている。 ・ 鉄道高架下である、駅東側の中杉通りや駅西側の区道の部分は暗いイメージであり、街路灯も少ない状況である。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商店会員の皆さんからは、美術館の整備に伴い、こうして欲しいといった具体的な意見は聞いていない。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の資料 2-2 はイメージとして提案させていただいた。実際は、維持管理など相当の費用がかかる場合や、関係窓口との調整が難しい場合もある。 ・ いくつかある提案の中から、今後優先して検討する内容を整理し、調整したい。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後検討を進める上で、できれば本日の資料について、商店会員の皆さんに一度見ていただき、ご意見などいただきたいと考えている。何か機会があれば、商店会員の皆さんへお話ししていただきたい。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートを実施した中で、サンライフ練馬の月の風を残してほしいという意見や、美術館見学の後のくつろげる場所があれば良いといった意見があり、美術館周辺での飲食店の需要は高いのではないかと。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提案の内容は良いと思う。ただし、維持管理の費用がかかる内容については、少し考えてしまう。 ・ 花を飾り明るくする提案などは実現性も高く、商店会員から賛同いただけると思われる。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私が住む地域では新しい道路が整備され、歩道はインターロッキングで歩きやすく、人の流れが古い商店街の道路から新しい道路へ移った。今までであった商店街は裏通りとなりシャッター街になってしまった。古い商店街の道路は、電柱があり道幅が狭い。以前はバス通りであったが、バスルートは新しい道路へ移り、そのため一般車両がスピードを出せるようになってしまっ

事務局	<p>た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の道路は、歩きやすくすることが大事である。電柱があると歩きにくく、無いほうが良い。経費がかかるので難しいかもしれないが。 ・商店街のある中杉通りの無電柱化の検討は、今まで行ってきたが、現在、都道であり難しい。 ・人通りに対しては、回遊性を求めている。美術館に来た方が商店街へ立ち寄っていくような人の流れを形成したい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場は、芝生や土の地面にし、子供を遊ばせられるようにできないか。 ・商店街で買った飲み物を飲んだりできるベンチなどあるとよいと思う。 ・美術館と商店街の中継点として、イベントなどにも使えるのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、美術館隣の美術の森緑地は、芝生を中心とした広場であり、当広場と駅前広場は、それぞれ機能の使い分けが考えられる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・美術館の再整備では、美術の森緑地も併せて整備する計画である。現在、設計者を選定している段階であり、具体的な計画についてはこれから検討する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・美術家のデザインによる、大江戸線の駅舎のようにしてはどうか。例えば、飯田橋駅は、ネオンのアーティストが作った駅舎空間である。そのようなデザインを、現在暗いイメージの高架下に用いれば、明るくなると思われる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の検討の参考とさせていただきたい。

(3) 「美術のまち中村橋」に向けた事業について

- ・事務局から資料3-1、資料3-2の説明。

部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・「美術のまち中村橋」に向けた事業とは、“まち”におけるアート活動のプログラムや文化的イベントなどの実施である。プログラムとは、美術館内で行っている教育普及プログラム、サポート養成プログラムなどである。 ・まちなみ整備と同時に、文化的なコミュニティを美術館からまちに向けて出していくことで、新しいまちづくりを仕掛けたい。 ・具体的には、現在美術館内で行っている子ども達への教育普及プログラムなどを、“まち”でも行っていきたい。今までは美術館スタッフや専門のメンバーが、美術館側主導で活動していたが、美術館再整備を期に“まち”へ出ていくことで、他の主体と一緒に関わっていきたい。教育普及プログラム以外の、もう少し幅広い文化的な要素をもった交流事業として、“まち”に広げていければと考えている。 ・再整備後の美術館については、美術館スタッフなどが行う講演会やワークシ
-----	--

	<p>ヨップ以外にも、例えば、商店街の皆さん、趣味の会で活動されている方々と一緒に、何かを行っていくことを考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術館の内、外の活動では、賑わいをつくる気軽な活動になるようにしていければと考えている。例えば、文化的なマルシェやマーケットの開催、週末の近隣行事、お祭りやイベントへの参加など。 ・今後の予定としては、まず今年度は、商店街を含む中村橋周辺の人に集まっていたりするような、事業化等に向けたプログラムなどを作っていきたい。来年度からは実験的な取組など進めていければと考えている。まだ具体的なことはお示しできる状況ではない。美術館リニューアル後の“まちなか”の教育普及プログラムの事業をどう作るかもテーマの一つである。実際に活動を進めながら、皆さんからご意見を聞きつつ、方向性を探っていきたい。 ・建替工事による美術館の休館期間は、“出前美術館”的な外での活動を考えている。例えば、出店的なものを駅前広場、美術の森緑地まで広げるようなものがあったらよいと思う。アートと農業、アートと本、アートとフリーマーケットなど、いろいろと組合せて区民の暮らしの豊かさをみたいなものを、まちへ提供したい。美術館が新しくオープンするまでに、実現化できそうなまちづくり的なものを方向づけたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・美術館の来館者が、美術館を見た後に商店街を回るよう、例えば、入館券の半券で、商店街の飲食の割引を受けられる仕組みなどを検討してはどうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、美術館には、来館者へ配る商店街約20店のサービス券を置いてもらっている。例えば、蕎麦屋で100円引き券など。 ・商店街の業種は、ほとんど飲食関係である。整備後の美術館に入る飲食系の施設については、商店街として気になる。 ・整備後の美術館には、例えば、現在のサンライフ練馬内の月の風のようなレストランや、美術館を観た後に簡単にお茶の飲めるカフェ等はあるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・「練馬区立美術館再整備基本構想」では、カフェレストランなどのサービス施設を入れることを想定している。 ・今後、設計事業者からの提案などを踏まえ検討していきたい。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・美術館計画のテーマの一つとして、中村橋駅周辺全体を、ゆったりくつろげる空間を演出することがある。現在ある美術館と、再整備後の美術館の違いは、パブリックとしての交流空間が増えることである。現在の建物は、図書館機能と美術館機能の2つがあるが、それ以外の機能は無い。再整備後の美術館は、リラックスできる広場的なスペースを確保し、それが美術の森緑地や駅前広場へ繋がることを想定している。
オブザーバー	<ul style="list-style-type: none"> ・江東区の東京都現代美術館（MOT）ができたときは、周辺には何もなかったが、今はいろいろなお店が outlet してきている。練馬区立美術館の再整備で

委員	<p>も、新たな出店が期待できると思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街は古い建物が多く、個々に建替えは進んでいる。新しい建物には、新たに起業したテナントなどが入っている。 ・空き店舗の入居を促進するため、練馬区産業経済部経済課の補助制度（「商店街空き店舗入居促進事業」）により、出店しやすくしている。新たにフルーツサンド店などが出店している。 ・一方、シャッターを閉めている建物は、古すぎて貸せない状況である。飲食店のテナントをお断りしている大家さんもいる。 ・美術館が再整備されることで、意欲を持って出店する方が増えるのを期待したい。 ・中村橋駅周辺は住みやすい。練馬駅周辺より家賃が安く、富士見台駅より都心寄りで電車賃が安い。 <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の道路より新しい道路の方が歩きやすいということについて。整備済の補助 133 号線には、店舗は数店できたが賑わいが少なく、防犯カメラなども無い。商店街の道路は、店もあり明るく、防犯カメラもある。道幅なども人が歩くにはちょうどよい。 ・車の通行については、補助 133 号線（現区間）が整備されてから、商店街の道路では以前に比べ、車の通行は減っている。 <ul style="list-style-type: none"> ・商店街イベントで、美術館のグッズを販売したことはある。ただし、1つ目は買っても2つ目は買わない。 ・駅南の千川通りから来館する方に対し、美術館の案内として、フラッグや横断幕で案内表示をしたことはある。中村橋駅は、電車とバスの乗継の方が多く、千川通りにフラッグや横断幕を設けた場合、バスを利用する方に対しアピールはできると思われる。なお、美術館の集客人数が多いのは土日であり、月曜日は休館日である。
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・千川通りには、行政が設置した美術館への案内看板はあるが、視認しにくいと思われる。見やすくしてはどうかと思う。 ・一度持ち帰り検討したい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・車で来館されても駐車場が無い。駐車場が無いこともあるが、美術館へ車で来る方は少ない。一年を通して車で来る方が多いのは、小中学校の書初め展など、家族で来館する場合である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺の駐車場は、高架下（西武スマイルパーク中村橋駅）にあったと思われる。 ・商店街の駅周辺には、いくつか駐車場（タイムズ等）がある。

3. その他

- ・事務局からまちづくりアンケート調査結果報告書の説明。

事務局	<ul style="list-style-type: none">・連絡事項について。・次回は2月を予定。日程調整を行いご連絡したい。・第2回駅周辺まちづくり部会は12月14日（水）を予定している。
-----	--

以上